

赤十字国際ニュース

2016年 第45号 2016年10月27日
(通巻 第1193号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門 1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6679-0785

E-mail: kokusai@jrc.or.jp <http://www.jrc.or.jp/>

■ (速報2) ハイチ：ハリケーン「マシュー」続報

10月4日にハイチに上陸したハリケーン「マシュー」の被災者は140万人以上となり、307カ所確認された避難所で暮らしている人は計17万5500人以上に上っています（ハイチ政府発表）。また、病院など36の保健医療施設が被害を受け、34のコレラ治療センターが完全に倒壊しました（10月19日現在、PAHO/WHO）。地元水道局も大きな被害を受けており、被災地ではきれいな水の確保が重要となっています。



約90%の家屋が損壊したジェレミーの町©IFRC



首都から被災地に物資を運ぶ船©スイス赤十字社

国際赤十字は、パナマより飛行機で輸送した35トンの救援物資を被災者に配布しました。ハイチ国内の陸路輸送が困難となり、首都ポルトープランスから被災地までは大型船で輸送しました。救援物資は衛生キットや家屋修繕キット、ポリタンク、防水シートなどで、南西部のジェレミーから、さらに西端のアンスデノーまで小さな船で運び、被災者への物資配布を実施しています。

【第1便で輸送された救援物資】

品目	個数
衛生キット	2,099
プラスチックバケツ(14L)	3,003
ポリタンク	6,040
防水シート	8,830
家屋修繕キット	3,999
キッチンセット	8,780
蚊帳	2,500



被災地で井戸を設置する赤十字ボランティア©オランダ赤十字社

また、15トンの医療品もポルトープランスに到着。被災地の中でもアクセスの困難な地域における巡回診療を開始します。

■ 「やっと濡れずに寝ることができる」

アンスデノーで最初に物資を受け取ったオーグスティン・ジーンさん（60歳）は、ハリケーンにより屋根が吹き飛ばされ、家財も壊れてしまい、雨が降ると水浸しになるので夜も立ったまま寝なければならなかったと言います。赤十字から防水シートを受け取ると、「これでやっと濡れずに寝ることができる」と喜んでくれました。



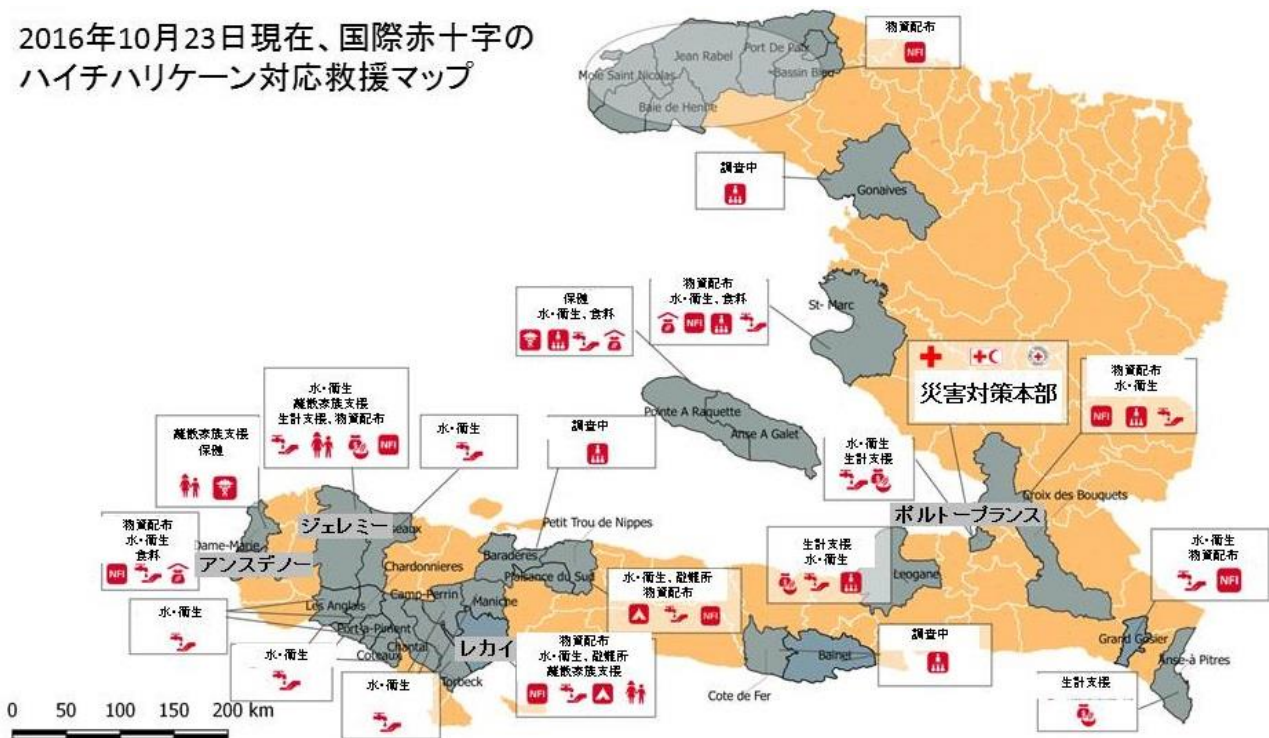
オーグスティン・ジーンさん©IFRC



赤十字ボランティアに付き添われ、配布物資を家まで運ぶジーンさん©IFRC

日本赤十字社は、1000万円の資金支援に加え、4000万円相当の物資支援を実施することを決定しました。

2016年10月23日現在、国際赤十字のハイチハリケーン対応救援マップ



●2016年ハイチハリケーン救援金にご協力おねがいします

http://www.jrc.or.jp/contribute/help/2016_3/index.html

緊急支援、コレラなど感染症予防対策支援への皆さまの温かいご支援をよろしくお願いたします。

～今回のニュースはいかがでしたか？ご意見・ご感想をお待ちしております～

★
大募集！
★

良かった・もっと知りたいテーマや記事、改善してほしい点など下記アドレスにお寄せください。
ご意見・ご感想をいただいた方の中から抽選で毎月1名様に赤十字グッズを差し上げます。
いただいたご意見・ご感想は今後本ニュース内でご紹介させていただく場合があります。

☆☆ 日本赤十字社国際部 kokusai@jrc.or.jp ☆☆